

キャッチボールの正確さとスピードを競え！ エイブル「キャッチボールクラシック2015」協賛 日本プロ野球選手会 考案の新ゲーム

2015年11月25日
株式会社エイブル

株式会社エイブル(本社:東京都港区、代表取締役社長、平田竜史、以下エイブル)は、一般社団法人日本プロ野球選手会(所在地:東京都中央区、理事長 東出 輝裕、以下プロ野球選手会)が主催する「キャッチボールクラシック2015」に協賛いたします。2015年12月6日に開催されるプロ野球12球団の選手とファンの交流イベント「ベースボールクリスマス2015in岡山」では、小中学生それぞれの部の全国大会が行われ、競技時に着用するピスやキャッチボール専用球を提供いたします。

本競技は、野球の基本であるキャッチボールにより野球振興だけでなく、人の輪も作っていくためにプロ野球選手会が考案し、2006年よりキャッチボールプロジェクトとして開始されました。エイブルでは、この趣旨に賛同し、プロジェクトの発足時から協賛しています。

「キャッチボールクラシック2015」の全国大会では、各地の予選を勝ち上がった小学生の部、中学生の部、それぞれ約30チームが、7メートルの間隔を空けて4人と5人に分かれ、2分間で何回キャッチボールができたかを競います。これまでの最高記録は小学生の部:115回、中学生の部:131回ですが、年々記録が伸び、本大会中にも新記録が期待されています。

また、エキシビションとして、小中学生の上位各2チームとプロ野球選手の対戦が予定されています。過去には中学生がプロ選手に勝利するなど、日々の練習に励む小中学生にとって、夢のような時間が提供されます。

■キャッチボールクラシック2015 概要

タイトル	キャッチボールクラシック2015
主催	一般社団法人日本プロ野球選手会
後援	共同通信社(加盟社)
協賛	株式会社エイブル
参加対象	中学生(中学校野球部)、小学生(少年野球チーム)
日程	2015年12月6日(日)
会場	マスカットスタジアム(岡山県倉敷市)



キャッチボールクラシック ロゴ

【メディアからのお問合せ先】

株式会社エイブル&パートナーズ 経営戦略本部 広報担当
TEL:03-5770-2618 FAX:03-5770-2607 MAIL:pr@able-partners.co.jp

参考資料

■ルールについて

- ① 9人1チームが5人と4人に分かれ、7メートル離れて向き合います。
- ② 5人の側の先頭の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに、向き合った相手にボールを投げます。
- ③ 1チームに1人、回数をカウントする審判が必要です。投げたボールを相手がキャッチしたのを1回と数えます。終了時に空中にあるボールはノーカウント。投げる時にラインをはみだすのはOKですが、捕球時にラインより前に出た場合、カウントされません。
- ④ ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。ただし次の投球は、そのボールを捕る順番だった人から再開しなければ回数はカウントされません。ボールを前に落としてしまった場合は、前に捕りに行って、ラインの後ろまで戻った時点で回数がカウントされます。もし、そのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントされません。
- ⑤ 2分たったところでゲーム終了の合図をします。その時点で空中にあるボールは数に入れません。キャッチボールが成立した回数がチームの記録となります。

